

1 学校教育目標

たくましさや優しさを兼ね備え、
変化の激しい社会を力強く生きる力を持った児童の育成

2 目指す児童像

思いやりのある子 進んで学ぶ子 最後までやりぬく子

3 学校経営方針 大切にしていける教育活動

- (1) なりたい自分を見つけ、目標達成に向け頑張れる児童を育成
- (2) 自己肯定感や自己有用感の醸成と互いを尊重する心の育成
- (3) 考え表現する力の定着と主体的に学ぶ態度の涵養
- (4) 地域とともにある学校づくりと信頼関係の深化

4 努力点

- 「なりたい自分を見つけ、自己実現をはかる」基礎を身につけられるようにする。
- 児童が自己肯定感や自己有用感を実感できるよう、児童一人一人が学年や学級等で活躍できる場面を意図的に設定し、「ほめる・認める・励ます・信じる」支援の充実を図る。
- **QU** を活用した児童とともに創る学級づくりとともに、児童同士や児童と教師のふれあいを大切し、温かい絆づくりと魅力ある教育活動を展開する。
- 学力形成及び向上の考え方を共通理解し、授業改善の視点を明確にした研修を計画・実践し、「質の高い学び」を支える指導の充実を図る。
- 「問いの生み出し」「問いの持続」「問いの深化」の学習過程を基本とし、「なぜ?」「なるほど!」「もっとやってみたい!!」を大切にしたい授業を実践する。
- タブレット端末などICT機器等を活用した児童一人一人の資質や能力に応じた活動を意図的・計画的に取り入れ、情報スキルの向上や情報モラルの醸成を図る。
- 健康教育の推進や「時間」「空間」「仲間」の三つの間を保障する運動環境づくりにより、健康・生活スキル習得や体力の向上を図る。
- 学校・家庭・地域が育てたい児童像や目指す学校像を共有し地域とともにある学校づくりの具現化を図るとともに、「対話」を重視して信頼関係を深める。

5 伊勢崎教育アクション4との関連

(1) 生活や学びの基礎の育成

◎一人一人のよさや可能性を引き出す指導・支援の充実

◎家庭や地域と一体になって行う保育・教育の充実

① 「なりたい自分を見つけ、自己実現をはかる」基礎を身につける

- 「好きなこと」「やりたいこと」に夢中になって取り組み、一人一人のよさや可能性を伸ばせるようにキャリア教育の充実を図る。（全教科、領域で）

② 豊かに生きる健康・生活づくり（自らの健康と生活を向上）

○ 危機管理意識の醸成

- ・危険や危機を事前に自覚し未然防止するための安全教育（生活安全・交通安全・災害安全への備え）の充実。
- ・予告なしの避難訓練等（火災・地震・侵入者）を実施し、日頃から危機意識を醸成。

○ 健康スキルの向上

- ・学校保健計画に基づき、早寝・早起き・朝ご飯、歯科指導・薬物乱用防止教育・性教育、学校保健委員会を計画的に実施し、自己管理能力を醸成し、自らの行動に結びつける児童の育成。
- ・安全教育を計画的に実施し、職員の危機管理意識を高めるとともに、正しい判断で落ち着いた行動ができる児童の育成。

○ 生活スキルの向上

- ・「整理・整頓・清掃・清潔・所作」の取組や「あいさつ運動」などの主体性を伴った実践により、自他共に気持ちよく過ごせる児童の育成。

○ 体力の向上

- ・運動に親しむための「時間」「空間」「仲間」を保証する運動環境の充実。

（２）豊かな心の育成

◎自分らしさを表現できる場の充実

◎子供の理解を基にした誰一人取り残さない支援の充実

① 自分らしく生きる

子供が安心して過ごせる場を保証し、自分の持てる力を発揮し、目標に向かって取り組めるようにする。

② 豊かな心で人と進んで関わる

○ 人と人との関わりづくり（特別活動・道徳教育）

- ・児童会活動、委員会活動、異学年集団活動や清掃活動の活性化。

（豊かな心、主体性と自治能力の育成をはかり、エージェンシーを発揮させる）

- ・豊かな体験活動、感謝の気持ちや相手のことを大切にしていることを伝える

あいさつ運動、思いやりを育む取組、歌唱指導、花いっぱい運動などの推進。

○ 温かい絆づくり（不登校・いじめ防止）

- ・仲間のよい面を積極的に認め、児童一人一人が輝ける学年経営・学級経営の充実。

資料2-3

(「ほめて、認めて、励まし、信じる」支援。励まし合い、高め合える学年集団・学級集団の育成と居場所づくり、QUの活用)

- ・ 児童とのよりよい関係の基盤づくり(児童理解)のために、年度初めに「児童と向き合う黄金の1ヶ月」の実施。

- ・ よい子のクローバーの考えを取り入れた積極的な生徒指導の充実
「対話」を重視し「教えて、考えさせる」指導の徹底。

(よい子のクローバーの考え方で命令・禁止から助言・忠告へ、ルールから自律へ)

- ・ 「宮郷第二小学校のいじめ防止基本方針」の共通理解と共通実践。

○ 認め合い・高め合いづくり(インクルーシブ教育・人権教育)

- ・ 発達支援教育の考え方に基づいた個に応じたきめ細かな支援を充実し、障がいの有無にかかわらず互いに学び合える児童の育成。
- ・ 他との違いを認めたり許容したりして多様性に気付き受けとめる機会を意図的に設定することによる、共生社会を築こうとする資質・能力を身に付けた児童の育成。
- ・ 人権が尊重される授業づくり、人間関係づくり、環境づくりの推進。

(3) 確かな学力の向上

◎自律した学習者を育てる指導の充実

◎発達に応じた、自己決定、対話・交流、試行錯誤の場の充実

① 学びを自己調整する力づくり

(学びの主役として、自ら学びに向かう力や姿勢の育成)

② 考え表現する力づくり

(自ら考えを形成し、分かりやすく表現する力の育成…校内研修テーマ)

○ 「なぜ?」「なるほど!」「やってみたい!!」を大切にした授業の実践

- ・ 本時で身に付いた資質や能力を児童の姿として明確にし、「問いの生み出し」「問いの持続」「問いの深化」の学習過程を基本とし、内発的動機付けを促す「めあて」の提示、自力解決を持続させる対話的な学習活動、「めあて」に沿った振り返りを表現する授業展開の徹底。

○ 「質の高い学び」を支える指導の充実

- ・ 学力向上委員会や教科部会を定期的開催し、課題解決に向けた方策の検討と共通実践の徹底。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るために、意図的・計画的な研修の推進。
- ・ 教科分担任制や少人数による指導により、習熟度に応じた効果的な指導の充実。

- 管理職による意図的・計画的な授業参観、1人2授業以上の授業公開や授業参観による確かな指導力の向上。
- 主体的な家庭学習の推進
 - 家庭学習の手引きや学校通信等を活用して、学校と家庭とで家庭学習の価値や方法を共有することにより、家庭学習に主体的に取り組む意欲やスキルの育成。
(宿題<自主勉強)。「やらせる」⇒「やりたい」
- 9年一貫指導における英語コミュニケーション力の育成
 - 英語モジュールプログラムを活用し、チャンツ・フォニックス・スモールトーク・会話活動等を取り入れた楽しい英語科授業の実施。
 - ALTやイングリッシュサポーターの効果的な活用。
- ③ 学びの基礎力づくり
(学びを支える基礎的な力の育成)
- ICT機器を主体的にかつ適切に活用できるようにするための活動の設定
 - タブレット端末などICT機器等を活用した児童一人一人の資質や能力に応じた活動を意図的・計画的に取り入れ、情報スキルの向上や情報モラルの醸成を図る。
 - プログラミング教育を推進して、ICT機器等活用した情報を収集・判断する活動や発信・伝達する協働的な活動を行うことで根拠や順序性を明確にして、論理的に説明する学習の充実を図る。
- 学校全体におけるICT活用の促進
 - 「いせさきGIGAALスクール」構想に基づく教育活動の展開に努める。
 - 情報教育主任等を中心としたICT活用促進体制づくりに努める。
 - ICT機器を用いて課題を解決する学習活動を各教科等で取り組む。
- ICT活用にかかる家庭と連携した環境構成の促進
 - タブレット端末の持ち帰り等を通して、日常的にICT機器を活用する。
 - ICT機器を安全かつ適切に活用できるよう情報モラル教育を充実させるとともに家庭への啓発・協力を促進する。

(4) 共生社会を創る力の伸長

◎一人一人の夢や希望を実現するキャリア教育の充実

◎子供も大人も互いを認め合う地域連携の充実

① 未来へ向かう力づくり(主体的に社会づくりに関わる)

- 夢や希望をもたせるキャリア学習の展開
 - 発達段階に応じた「未来力」学習講座を実施し、夢や希望を持たせるキャリア教育学習の展開。
- いせさき教育アンバサダーやカリキュラムパートナーとの連携の充実
 - いせさき教育アンバサダーやカリキュラムパートナーとの連携の充実により、魅力ある教育活動の展開。

② 地域とつながる力づくり(持続可能な社会の創り手の育成)

- 伊勢崎ふるさと学習の充実
 - ふるさとに誇りや愛着心を持つ児童を育む、ふるさと学習の計画的・継続的な実施。

- 地域で行われる祭り・スポーツ・レクリエーション・伝統芸能などへの積極的な参画の推奨
 - ・ 地域の一員としての自覚を育む、地域行事への積極的な参画の推奨。
- 地域と育む幅広い知識・能力づくり
 - ・ 学校・家庭・地域が育てたい児童像や目指す学校像を共有し、三位一体による宮郷っ子の育成。
 - ・ 教育活動における保護者及び地域等の学校支援ボランティアの積極的な活用。
 - ・ 学校経営の充実を図る学校評議員会の効果的な運営の推進。
 - ・ 学校と家庭の信頼関係を深めるPTA活動の充実。